

株式会社関西スーパーマーケット  
取締役会 御中

オーケー株式会社  
代表取締役会長 飯田 勸  
代表取締役社長 二宮 涼太郎

「貴社に対するご質問」へのご回答のお願いと追加のご質問について

仲秋の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、掲題の件、2021年9月24日に貴社が公表されましたエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社（以下「H20様」といいます。）、イズミヤ株式会社（以下「イズミヤ様」といいます。）及び株式会社阪急オアシス（以下「阪急オアシス様」といい、3社を併せて、以下「H20グループ様」といいます。）との経営統合後の理論株価等に関しまして、9月28日に弊社より「貴社に対するご質問」（以下「本質問」といいます。）をご送付申し上げ、貴社株主の皆様にとって重要な判断材料となる各事項についてのご回答をお願いさせていただいております。

その後1週間以上が経過しておりますが、本書時点においてまだご回答をいただけておりません。また、本質問をお送りした後、貴社は2021年9月30日に「（開示事項の経過）持株会社体制への移行に伴う吸収分割、商号及び定款の一部変更並びに代表取締役の異動に関するお知らせ」（以下「本開示資料」といいます。）を公表されておりますので、本質問へのご回答に加え、追加でご質問をさせていただく以下2点につきましても、議決権行使する株主の皆様が事前に十分検討できるように10月11日（月）までに、ご回答を適時開示の方法によりご公表いただきますようお願い申し上げます。

- (1) 本開示資料によりますと、H20様は貴社との株式交換によって貴社の支配的な株主となるだけでなく、貴社経営体制は刷新され、貴社の経営自体もH20様とそのグループご出身の方々が担うこととなっております。このような取引は、業績不振が極まって単独では存続できない企業の場合を除いてなかなか見られないものですが、経営統合後の貴社経営体制においてなぜこのような一方的に不利な条件を受け入れる必要があるのか、ご説明をお願いいたします。

また、下表のとおり、貴社経営陣の皆様は過去5年に亘り合計70億円以上の純利益を計上されている一方、H20様の子会社であるイズミヤ様及び阪急オアシス様は、過去5年に亘り2社合計で▲294億円の純損失を計上されております。こうした客観的な経営実績をみれば、貴社経営陣の皆様は、スーパーマーケットの事業者として、明らかにH20グループ様よりも優れたご業績を残されてこられたと存じます。そのような優れた貴社経営陣の皆様が、経営統合後の貴社経営の舵取りからは福谷様1名を除き退かれ、ご業績に苦しんでいるH20様とそのグループご出身の経営陣の方々に貴社経営権を引き渡すことは、貴社株主にとって不利益となる役員変更だと考えられます。

（ご参考）：2017/3期以降の貴社、イズミヤ様及び阪急オアシス様の当期純利益実績（単位：億円）

	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	17/3-21/3期 合計
貴社	8	12	14	17	20	71
イズミヤ	▲59	▲28	▲38	▲97	5	▲218
阪急オアシス	1	▲16	▲10	▲60	8	▲77

出所：貴社有価証券報告書、H20様有価証券報告書、H20様決算説明資料、イズミヤ様電子公告、阪急オアシス様電子公告

- (2) 2021年9月24日に貴社が公表されました理論株価の算定の前提となっている事業計画は過去水準を上回る近年にない利益改善が見込まれております。10月29日の臨時株主総会における貴社株主のご判断にあたり、当然、この理論株価と事業計画は重要な意思決定の前提となります。経営統合案が可決された場合、貴社経営の舵取りは、現在の経営陣からH20様とそのグループご出身者が大半を占める新たな経営陣へ引き渡されることとなりますが、新経営陣が責任をもって理論株価及び事業計画の達成を推進されることを貴社株主にお約束いただけるのか、ご説明願います。

以上